

施設概要

「ラムサール条約湿地藤前干潟 稲永ビジターセンター」は、藤前干潟を含む周辺の環境保全や、適正な利用のための情報発信を行う施設です。

藤前干潟が健全なすがたをとどめ、いつまでもたくさんの渡り鳥のやってくる場所であるように、豊かな自然と共に生きる社会を願って稲永ビジターセンターをつくりました。

- 所在地 〒455-0845 名古屋市港区野跡4丁目11番2号
(稲永公園内野鳥観察館隣)
- 規模 地上2階建 延床面積 986m²
- 構成 1階:展示室 2階:展示室
レクチャー室 会議室
研修室 ライブラリー
事務室
- この施設では、環境に配慮し、下記の設備を取り入れています。
クール&ホットチューブ
草屋根
氷蓄熱利用マルチエアコン

利用案内

- 開館時間 9:00～16:30
- 閉館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
第3水曜日(第3水曜日が祝日の場合は第4水曜日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ※団体(10名以上)については、事前予約が必要です。

交通案内

- ◆あおなみ線「野跡」駅下車、徒歩15分
- または
- ◆地下鉄名港線「築地口」駅から市バス「野跡駅」下車、徒歩15分
- その他、名古屋駅、金山駅、および地下鉄東山線「高畑」駅から「野跡駅」行、市バス運行
- ※公共交通機関をご利用ください。



稲永ビジターセンターの対岸の藤前地区には、「藤前活動センター」があります。藤前活動センターは、たくさんの方々から藤前干潟で暮らす鳥類や海の生きものを体験・学習していただくための拠点施設です。干潟で生活する生きものたちと、私たち人間との関わりについて考えるきっかけとなる活動をしています。

お問い合わせ

ラムサール条約湿地藤前干潟
●稲永ビジターセンター
〒455-0845 名古屋市港区野跡4丁目11番2号
TEL. (052) 389-5821 FAX. (052) 389-5822

ラムサール条約湿地藤前干潟
●藤前活動センター
〒455-0855 名古屋市港区藤前2丁目202番地
TEL. (052) 309-7260 FAX. (052) 309-7261

2100



このパンフレットは環境に配慮し、古紙配合率100%再生紙、大豆油インキで印刷しています。

ラムサール条約湿地藤前干潟 稲永ビジターセンター

Ramsar site Fujimae-higata INAE Visitor Center



環境省
Ministry of the Environment



ラムサール条約と藤前干潟

ラムサール条約は、水鳥の生息地等として、国際的に重要な湿地とそこに生息、生育する動植物の保全を進めることを目的とする国際条約です。

藤前干潟は、シギ・チドリなどのなかまの東アジア・オーストラリア渡りルート上の重要な中継地となっており、春秋の渡りの時期や越冬期には、たくさんのシギ・チドリ類が訪れ、エサを採ったり休息したりします。また、冬にはロシアやアラスカなどからカモ類がたくさん渡ってきて冬を越します。

このように、渡り鳥を保護していくために大切な地域であることから、2002(平成14)年11月、「ラムサール条約」に登録されました。



2階展示室



シロチドリ

2F

1F



研修室



レクチャー室



ハマシギ

